

2020年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年5月8日

上場会社名 クックパッド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2193 URL <https://info.cookpad.com/>
 代表者（役職名） 代表執行役（氏名） 岩田 林平
 問合せ先責任者（役職名） 執行役（氏名） 犬飼 茂利男 (TEL) 03-6368-1000
 四半期報告書提出予定日 2020年5月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,751	△6.3	191	△35.7	212	△29.1	50	△48.5	138	△35.4	△500	—
2019年12月期第1四半期	2,937	△1.2	298	△64.1	300	△57.5	98	△67.1	213	△28.6	366	57.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	1.28	—
2019年12月期第1四半期	1.99	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	26,452	24,325	22,954	86.8
2019年12月期	27,205	24,821	23,363	85.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しみにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、2020年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期1Q	107,429,400株	2019年12月期	107,429,400株
2020年12月期1Q	4,011株	2019年12月期	3,961株
2020年12月期1Q	107,425,438株	2019年12月期1Q	107,425,439株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

サマリー情報「3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)」に掲げた理由から、業績予想については記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(6) 継続企業の前提に関する注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年12月期第1四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年3月31日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2019年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	2020年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	前年同期比
売上収益	2,937	2,751	△6.3%
営業利益	298	191	△35.7%
税引前四半期利益	300	212	△29.1%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	213	138	△35.4%

当社グループは「毎日の料理を楽しむにする」というミッションの下、日本のみならず世界中の料理のつくり手を増やすべく、料理に関する様々な課題解決に向けた積極的な投資を行っています。このミッションについて、当社グループの事業活動の目的・存在意義を明確にするため、定款に「当社は、『毎日の料理を楽しむにする』ために存在し、これをミッションとする。」「世界中のすべての家庭において、毎日の料理が楽しみになった時、当社は解散する。」という記載をしています。

世界中の人々の生活は資本主義体制の中で非常に豊かになりました。貧困に悩む人は減り、医療技術の革新により人類の寿命は長くなりました。しかしながら、生活は豊かになりましたが、肥満や生活習慣病、バーチャルな人間関係の偏重がもたらす心の病は増加しました。また、「地球」の健康という意味でも、CO2の排出量の増加、オゾン層の破壊、土壌や海洋の自浄作用を超えた汚染等大きな犠牲を払ってきました。

外食やデリバリーの普及によって、安くて美味しいものが手軽にたべられるようになりましたが、それらの食品を流通させるために、多くの森林が伐採され、ゴミも増え続けています。結局、今まであった問題を解決する中で、また新たな問題をつくっているにすぎないのではないかと当社グループは考えています。

ひとの健康に必要なのは、食事、運動、睡眠といわれています。世界でもっとも頻度高く行われている社会活動は、家族での食事です。つまり食は、地球にも、ひとにも、社会にも大きな影響を与えているといえます。この食の良し悪しが地球と、ひとと、社会の、これからの分岐点になると思っています。

当社グループは、食の世界を良くするには、「つくり手を増やすこと」だと考えています。資本主義社会では、どうしても利益の追求が優先され、結果、地球の未来を犠牲にすることが多くなりますが、つくり手になると様々な「気づき」が増え、より正しいと思う考えに基づいて「自ら変える力」が強くなります。「つくり手」で居続けてもらうためには、料理が楽しみに、それも、毎日楽しみになる仕組みづくりが必要だと思うのです。料理をもっとクリエイティブで楽しいものにしたい。「つくること」をわくわく楽しいことにしたい。「作業」ではなくどどんうまくなるものにしたい。料理をとおして、他の人とのつながりが楽しみとなり増えてくようにしたい。そんな風に考えています。

世界中の70億人の中には、すでに料理をたのしんでいる「つくり手」がたくさんいます。そのひとたちのエネルギーや、知恵や、思いや、気持ちや、人々を励まし助けになるようなコミュニティをつくりたいと思っています。当社グループは地球、ひと、社会、の健康を“毎日の料理を楽しむにする”ことによって実現していきます。

当第1四半期連結累計期間における売上収益は2,751百万円（前年同期比6.3%減）となりました。これは主に国内レシピサービス広告売上が減少したこと、およびその他売上において通信キャリアとのレベニューシェア型の売上が減少したことによります。販売費及び一般管理費は国内の人員数の減少とそれに伴う付随費用が減少したことにより2,459百万円（前年同期比5.4%減）となりました。また、税引前四半期利益は212百万円（前年同期比29.1%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、法人税等の計上に加え、CookpadTV株式会社において非支配持分に帰属する四半期損失が発生したことにより、138百万円（前年同期比35.4%減）となりました。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにす事業」の単一セグメントであります。売上収益の内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2019年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	2020年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	前年同期比
毎日の料理を楽しむにす事業	2,937	2,751	△6.3%
国内レシピサービス会員売上	1,827	1,813	△0.8%
国内レシピサービス広告売上	759	659	△13.1%
その他売上	351	278	△20.6%

当第1四半期連結累計期間における国内のレシピサービス会員売上は1,813百万円（前年同期比0.8%減）となりました。これは主に前年同期と比較したプレミアムサービス会員が4.3万人減少したこと等によります。

当第1四半期連結累計期間における国内レシピサービス広告売上は659百万円（前年同期比13.1%減）となりました。これは主にネットワーク広告単価が下落したこと等によります。

当第1四半期連結累計期間におけるその他売上は、278百万円（前年同期比20.6%減）となりました。これは主に通信キャリアとのレベニューシェア型の売上収益が減少したこと等によります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ752百万円減少し、26,452百万円となりました。このうち、流動資産は同643百万円減少し、24,768百万円となり、非流動資産は同109百万円減少し、1,683百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動資産については、主に為替の円高影響等により現金及び現金同等物が795百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ256百万円減少し、2,127百万円となりました。このうち、流動負債は同133百万円減少し、1,295百万円となり、非流動負債は同123百万円減少し、831百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動負債については、営業債務及びその他の債務が106百万円減少したこと、非流動負債については、リース負債の返済により、リース負債が122百万円減少したことによるものです。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ496百万円減少し、24,325百万円となりました。この主な要因は、為替の円高影響等によりその他の資本の構成要素が547百万円減少したこと、非支配持分が87百万円減少したこと及び利益剰余金が138百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ795百万円減少し、22,309百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により支出した資金は、3百万円となりました。この主な要因は、税引前四半期利益212百万円、減価償却費及び償却費134百万円を計上した一方で、法人所得税等の支払額73百万円が生じたことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、96百万円となりました。この主な要因は、子会社の取得による支出53百万円が生じたことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、98百万円となりました。この主な要因は、リース負債の返済による支出98百万円が生じたことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しむにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境等の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、2020年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、開示を行っていません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,105,395	22,309,444
営業債権及びその他の債権	1,820,744	2,043,862
その他の金融資産	26,560	11,051
棚卸資産	24,641	19,515
その他の流動資産	434,718	384,912
流動資産合計	25,412,057	24,768,784
非流動資産		
有形固定資産	923,150	851,052
のれん	140,920	140,920
無形資産	334,869	317,516
その他の金融資産	314,692	299,914
繰延税金資産	49,780	49,286
その他の非流動資産	29,961	25,035
非流動資産合計	1,793,372	1,683,723
資産合計	27,205,429	26,452,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
リース負債	385,151	381,871
営業債務及びその他の債務	715,170	608,519
その他の金融負債	51,765	41,173
未払法人所得税等	6,015	10,079
その他の流動負債	270,647	253,851
流動負債合計	1,428,749	1,295,493
非流動負債		
借入金	40,000	40,000
リース負債	721,624	599,374
その他の債務	15,726	14,613
引当金	173,022	173,093
繰延税金負債	4,787	4,787
非流動負債合計	955,159	831,867
負債合計	2,383,908	2,127,359
資本		
資本金	5,286,015	5,286,015
資本剰余金	7,194,224	7,194,224
利益剰余金	11,112,155	11,250,344
自己株式	△2,008	△2,022
その他の資本の構成要素	△227,190	△774,390
親会社の所有者に帰属する持分合計	23,363,196	22,954,171
非支配持分	1,458,326	1,370,976
資本合計	24,821,521	24,325,147
負債及び資本合計	27,205,429	26,452,506

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上収益	2,937,854	2,751,967
売上原価	△20,661	△104,855
売上総利益	2,917,193	2,647,112
販売費及び一般管理費	△2,600,472	△2,459,768
その他の収益	242	4,816
その他の費用	△18,787	△430
営業利益	298,176	191,730
金融収益	4,147	22,991
金融費用	△2,093	△1,732
税引前四半期利益	300,229	212,989
法人所得税費用	△201,534	△162,149
四半期利益	98,695	50,840
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	213,875	138,190
非支配持分	△115,180	△87,349
四半期利益	98,695	50,840

1 株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益(円)	1.99	1.28
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期利益	98,695	50,840
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	267,765	△551,521
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	267,765	△551,521
税引後その他の包括利益	267,765	△551,521
四半期包括利益	366,460	△500,681
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	481,640	△413,331
非支配持分	△115,180	△87,349
四半期包括利益	366,460	△500,681

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2019年1月1日時点の 残高	5,286,015	7,194,224	12,428,820	△2,008	△434,304	24,472,747	1,842,619	26,315,367
会計方針の変更の影響	—	—	△347,941	—	—	△347,941	—	△347,941
2019年1月1日時点の 再表示後残高	5,286,015	7,194,224	12,080,879	△2,008	△434,304	24,124,806	1,842,619	25,967,426
四半期利益	—	—	213,875	—	—	213,875	△115,180	98,695
その他の包括利益	—	—	—	—	267,765	267,765	—	267,765
四半期包括利益合計	—	—	213,875	—	267,765	481,640	△115,180	366,460
株式報酬取引	—	—	—	—	2,844	2,844	—	2,844
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	2,844	2,844	—	2,844
2019年3月31日時点の 残高	5,286,015	7,194,224	12,294,754	△2,008	△163,695	24,609,290	1,727,440	26,336,730

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2020年1月1日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,112,155	△2,008	△227,190	23,363,196	1,458,326	24,821,521
会計方針の変更の影響	—	—	—	—	—	—	—	—
2020年1月1日時点の再表示後残高	5,286,015	7,194,224	11,112,155	△2,008	△227,190	23,363,196	1,458,326	24,821,521
四半期利益	—	—	138,190	—	—	138,190	△87,349	50,840
その他の包括利益	—	—	—	—	△551,521	△551,521	—	△551,521
四半期包括利益合計	—	—	138,190	—	△551,521	△413,331	△87,349	△500,681
株式報酬取引	—	—	—	—	4,320	4,320	—	4,320
自己株式の取得	—	—	—	△14	—	△14	—	△14
所有者との取引額合計	—	—	—	△14	4,320	4,306	—	4,306
2020年3月31日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,250,344	△2,022	△774,390	22,954,171	1,370,976	24,325,147

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	300,229	212,989
減損損失	18,589	12,402
減価償却費及び償却費	160,224	134,483
金融収益及び金融費用(△は益)	28,025	47,456
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△44,000	△258,991
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△21,553	△42,220
その他	283,842	△40,170
小計	725,357	65,950
利息及び配当金の受取額	2,784	5,079
利息の支払額	△3,901	△1,660
法人所得税等の支払額	△735,807	△73,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,568	△3,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,029	△50,597
無形資産の取得による支出	△9,957	△2,362
子会社の取得による支出	—	△53,282
事業譲受による支出	△45,226	—
その他	12,500	9,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,712	△96,951

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△112,556	△98,576
自己株式の取得による支出	—	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112,556	△98,590
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△195,836	△199,368
現金及び現金同等物の期首残高	22,756,245	23,105,395
現金及び現金同等物の為替変動による影響	30,063	△596,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,590,471	22,309,444

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 報告企業

クックパッド株式会社(以下、当社)は日本に所在する企業です。2020年3月31日に終了した3ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社(以下、当社グループ)により構成されています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにする」を企業理念とし、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に定める要件を満たしており、「指定国際会計基準特定会社」に該当しますので、同第93条の規定により、IAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

なお、要約四半期連結財務諸表は、年度の連結財務諸表で要求されている全ての情報を含んでいないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定的基础

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を四捨五入して表示しています。

3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、他の記載がない限り、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積平均年次実効税率を用いて算定しています。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直します。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識します。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

5. セグメント情報

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにする」事業の単一セグメントとなるため、事業分野ごとの収益、損益及びその他項目の記載を省略しています。

6. 後発事象

当社は、2020年3月26日付の取締役会において、ストック・オプション（以下「本新株予約権」といいます。）を発行することを決議し、2020年5月8日に発行内容が確定し、割当てを行いました。

発行内容の概要は以下のとおりです。

(1) 新株予約権の目的である株式の種類および数

当社普通株式310,500株

(2) 新株予約権の発行数

3,105個

なお、本新株予約権1個当たりの目的となる株式の数は100株とする。

(3) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

本新株予約権1個当たり 金34,700円（1株当たり金347円）

(4) 新株予約権の割当ての対象者およびその人数ならびに割り当てる新株予約権の数

割当対象者	人数	割当新株予約権数
当社の執行役	5名	650個
当社の従業員	35名	1,520個
当社子会社の取締役	8名	380個
当社子会社の従業員	13名	555個
合計	61名	3,105個

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。